



日光ケミカルズ株式会社

パーソナルケア・医薬品・化成品原料の研究・処方開発、情報の提供や販売、開放研究室によるお客様サポート



日本サーファクタント工業株式会社

化粧品・医薬品・食品および一般工業などの原料製造



ベルジュラックジャパン株式会社

ネイルエナメル・ネイルケア製品などの化粧品の受託製造および購入



株式会社ニコダームリサーチ

化粧品・医薬品の原料および製剤の安全性・有用性評価の受託、最適な安全性・有用性評価法の提案



日光化学貿易（上海）有限公司

中国パーソナルケア市場への原料の輸入販売（界面活性剤、油性成分、活性成分、植物油、植物抽出物、表面処理粉体等）



日光ケミカルズ（シンガポール）Pte. Ltd.

界面活性剤およびエステル油の製造販売



NIKKO CHEMICALS (INDIA) PRIVATE LIMITED

化粧品、食品、医薬品等を中心とした化学原料の売買および研究・調達・製造・評価・コンサルティング・マーケティング



CSR REPORT

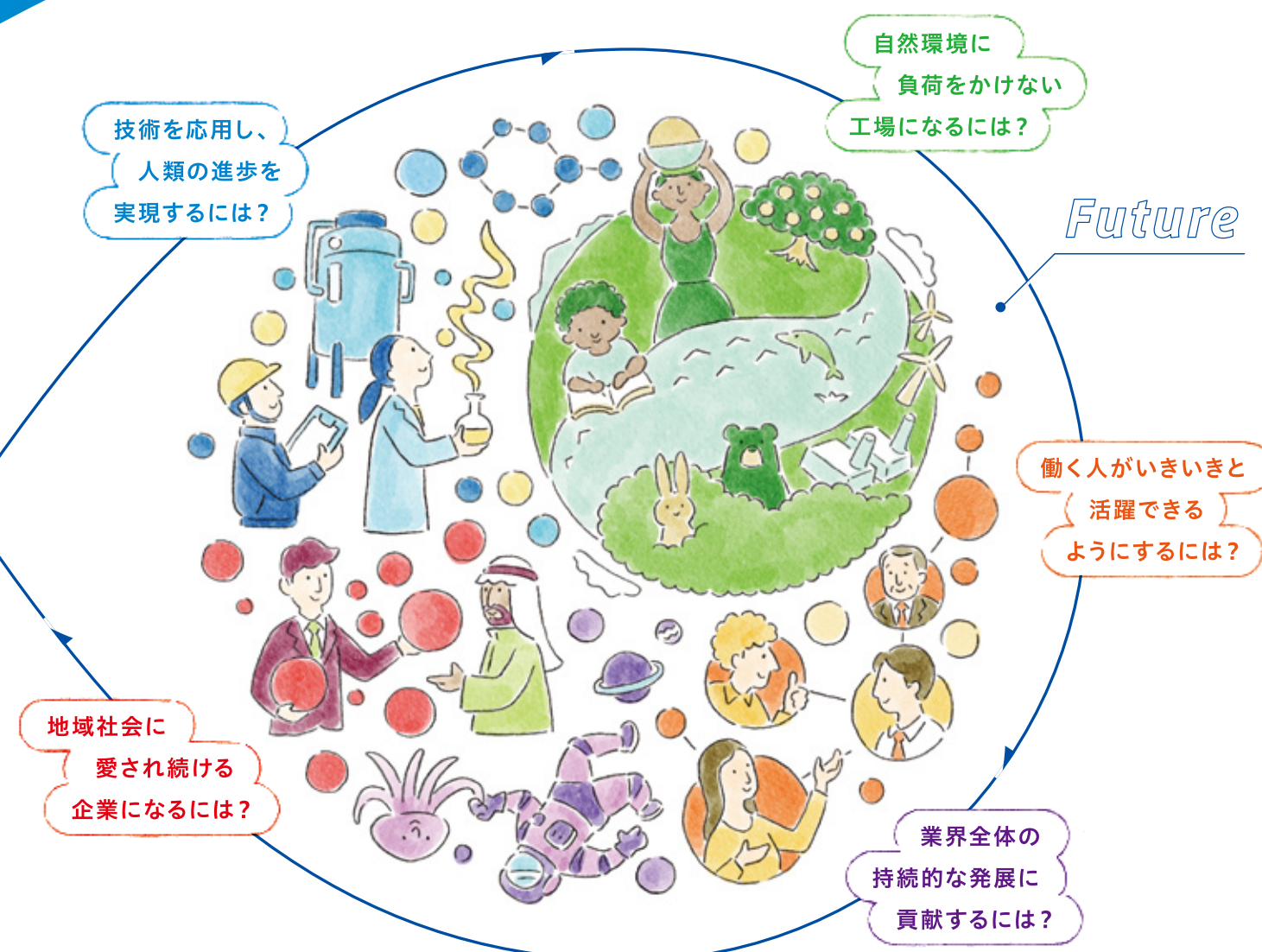
NIKKOL GROUPのCSR

ニッコールグループが提供する製品やサービスの源流を辿ると、創立者・関根正巳が目指した「真の責任」に行き着きます。70年以上に渡り受け継がれてきた想いは、2022年の合併によって、より強固なものとなりました。これからも「NIKKOL 25 for 2030」のスローガンのもと、各ステークホルダーの声を傾けながら、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

Response

“あらゆる社会生活の面で真の責任を感じ、それを実行する勇気をもとう。”

創立者 関根正巳『joint』昭和45年11月9日号



代表あいさつ

社会は大きな転換期を迎えています。テクノロジーの発達やライフスタイルの変化に伴い、消費者のニーズが多様化しています。こうした“正解”のない時代だからこそ、日常を支えるサプライヤーの社会的責任は重大です。

それはニッコールグループも例外ではありません。私たちは「CSR」や「サステナビリティ」という言葉が社会に浸透する以前から、活動に取り組んできました。

活動の領域は多岐に渡りますが、突き詰めた先には「人々の喜びや幸せ」があります。その想いは、創業者から社員へと受け継がれ、やがてグループ全体に波及していきました。4000品目を超える製品は、私たちが社会と真摯に向き合ってきた証でもあるのです。

ニッコールグループはこれからも、社是「創造性の涵養」のもと、新たな価値を提供し続けます。



日光ケミカルズ株式会社
代表取締役 社長執行役員
中原 秀之

美しさの化学を、社会を想う科学に。 NIKKOL 25 for 2030

NIKKOL GROUPが
2030年までに実現したい25の夢

「コロイド化学と皮膚科学は、世界に新しい未来を創造する」より深く社会に貢献できる企業となるため25の夢を掲げ、その実現を目指していきます。

EARTH

「地球」の未来と
共にあるために

1. 再生可能な資源だけを使用した原料を世界に届ける。
2. エネルギーや資源の新しいリサイクル技術を開発する。
3. 循環型社会へ向けた活動で社会から信頼される企業になる。
4. 地域産業の持続可能な発展のために公正な取引を行う。
5. 原料を届けるだけでなく、教育など地域社会に貢献する。

TECHNOLOGY

「技術」で社会を
リードするために

6. NIKKOL GROUPでしか創れない界面活性剤で世界を変える。
7. スマートセルや合成生物学などを活用した次世代型製造技術を実現する。
8. メイドインジャパンの素材でNIKKOL GROUPブランドを構築する。
9. イノベティブな新製品開発力で、世界から選ばれる企業になる。
10. コロイド研究領域のナレッジを通して、社会の進歩に貢献する。

BUSINESS

「事業」の新しい未来を
切り拓くために

11. 多様化するこれからの「美しさ」の価値観にもっと応えていく。
12. パーソナルケアを超えて、ヘルスケア領域でも新しい価値を創造する。
13. 原料販売だけでなく、ソリューション、トレーディング領域に進出する。
14. 文化遺産保護や宇宙開発など、未知の領域で社会に貢献する。
15. 事業の拡大と発信を通して、新しいNIKKOL GROUPファンを作っていく。

TEAM

「社員」と共に未来を
描いていくために

16. テクノロジーが進んでも、常に人間中心の企業であり続ける。
17. 企業が描く将来像と社員が抱く夢を重ね合わせながら未来を切り開く。
18. 社員が求める真のやりがいに耳を傾け応えていく企業になる。
19. 会社の枠を超えて価値観に共感した仲間が集い創発できる場所になる。
20. 性別や国籍を超えて、誰もが自由な働き方を選び活躍できる環境をつくる。

SOCIETY

「世界」のNIKKOL GROUP
であるために

21. 世界の隅々に製品を届けるためのネットワークを構築する。
22. アジア地域で皮膚科学とコロイド化学ならNIKKOL GROUPと言われる。
23. その国のニーズ・商習慣・社会の多様性に寄り添った事業を実現する。
24. 世界の企業と確かな信頼で結ばれるパートナー企業になる。
25. NIKKOL GROUPと共にある世界の全ての人たちと成長を分かち合う。

NIKKOL GROUPのCSR

ニッコールグループ各社では、これまで大小合わせて150を超える様々なCSR活動を実施してきました。取り組みの根底にあるのは、社会の一員として果たすべきコミットメント（約束）です。「NIKKOL 25 for 2030」で掲げた「25の夢」が推進力となり、社は「創造性の涵養」に結実します。



社是 創造性の涵養

創立以来育まれた
社会に貢献する
NIKKOL GROUPのDNA

Vision NIKKOL 25 for 2030

「創造性の涵養」を
今の時代において実現すべく
全社員で描き出した25の夢

コミットメント

企業統治 内部監査 情報開示 説明責任 リスクマネジメント 企業価値の分配

NIKKOL GROUPが社会的な存在として世界中の人々に貢献するために果たすべき「約束」

CSR推進体制

ニッコールグループでは、2022年1月にグループ各社の代表者で構成される「サステナビリティ委員会」を発足しました。

それぞれが持ち寄り共有した情報や活動を、自社に持ち帰って横展開する、あるいは社外へ発信できる環境をつくることで、新たなCSR活動が生まれる基盤を構築しています。



BCP（事業継続計画）

ニッコールグループでは、BCPを強化・向上させるべく継続的に検討・改善を行い、グループ内の製造会社と販売会社が協力して対応しています。

日光ケミカルズ

グループ全体の製造・販売・情報セキュリティのBCPを担っています。例えば、購買本部は、素材原料の探索や評価を進め、製品調達の安定性を確保。SCM本部は、物流面での安定供給を支えています。また、IT企画推進室はクライシス発生時に備え、情報セキュリティ対策を管理しています。

日本サーファクタント工業

製造設備の耐震強化をはじめとする安全対策を行うほか、外部の製造委託先とも連携して、製品の安定的な製造・販売の確保に努めています。また、在庫を安定的に確保するために、製品や原料の拠点を複数展開。さらに、各事業者との関係も強化し、緊急時の相互供給体制を築いています。

ベルジュラックジャパン

主力事業となるネイルエナメル・ネイルケア製品などの製造工程を分散化するほか、予備的製造拠点も整備。緊急時における供給への影響を最小限にとどめます。

ニコダームリサーチ

緊急時においても、化粧品・医薬品・医薬部外品・食品などを評価検討できるように、日光ケミカルズと協力して国内外の研究機関と提携しています。

日光化学貿易（上海）

中国市場で化粧品ビジネスを展開する事業者への供給拠点として、日光ケミカルズや各原料メーカーから調達した製品の安定在庫を確保しています。

日光ケミカルズ（シンガポール）

複数の製造委託先を確保し、非常時の製造体制を設けています。さらに、一部の重要な製品については、日本サーファクタント工業と相互補完できる体制を築いています。

SDGs 持続可能な社会の実現への貢献

ニッコールグループでは持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献すべく、事業活動を通じ9つの重要課題への取り組みを推進していきます。

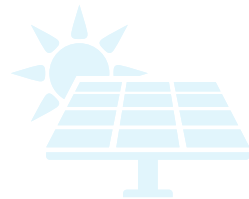


環境マネジメント

ニッコールグループは、地球の環境保護が人類共通の課題であることを認識し、環境負荷の少ないモノづくりに努めています。
製造設備の改善や第三者機関による評価なども積極的に実施。
スペシャルティカンパニーとして、グループ全体で環境マネジメントの構築を推進しています。

CO₂削減活動

日本サーファクタント工業 宇都宮事業所では、環境負荷低減の取り組みを進めています。太陽光発電システムやDO計（溶存酸素計）などを設置し、省エネルギー化を進めています。そのほか、重油から液化天然ガスへの転換にも着手。液化天然ガスを使用したボイラを導入し、温室効果ガスを約25%削減しました（重油使用期間2006～2008年と液化天然ガス使用期間2015～2017年の平均年間CO₂排出量の比較）。



温室効果ガス
約25%削減

排水処理

日本サーファクタント工業 宇都宮事業所では、施設内で行われている一部の工程において、再利用水装置を導入しています。施設から出る排水を削減することによって、環境保護に努めます。



R&Dセンターの ZEB Ready

「ZEB」(Net Zero Energy Building)とは、快適な室内環境と省エネルギーの両立を目指す建物を対象とする認証制度。エネルギー削減率により「ZEB」、「Nearly ZEB」、「ZEB Ready」などの4ランクに分類されます。日光ケミカルズR&Dセンターでは、省エネルギーに配慮した設備を導入し、従来の必要エネルギーの50%以下にまで削減。これにより「ZEB Ready」を取得しています。



ASD認証

「ASD」(Action for Sustainable Derivatives)とは、パーム油誘導体のサプライチェーンにおける、主に海外パーソナルケア業界全体の変革を進める企業間連携組織です。生産地を支えることを目指しており、パーム油を調達するための国際基準であるNDPE原則に準拠した森林破壊禁止・人権尊重を掲げています。日光ケミカルズは、SDGs推進の観点から国内初となるASD会員企業に参画。ニッコールグループが関わるパーム油の誘導体・パーム油由来製品のサプライチェーンの透明性を追求します。



ISO 14001

(環境マネジメントシステム)

ベルジュラックジャパンでは「ISO 14001」を取得しています。「ISO 14001」とは、サステナビリティの考えのもと、環境リスクの低減および環境への貢献を目指すマネジメントシステムの国際規格です。社会経済的ニーズを意識しつつ、PDCA (Plan-Do-Check-Act) サイクルに基づいて、環境マネジメントのレベルを継続的に改善していくことを目標としています。



エコアクション21

「エコアクション21」は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムです。導入する企業には、生産・販売・提供する製品の環境性能の向上およびサービスの改善などが規定されています。その成果を毎年、環境経営レポートとして作成・公表します。日本サーファクタント工業では2012年から定期的に取得。2021年8月には、エコアクション21中央事務局より「認証永年継続事業者」に認められました。



エコアクション21
認証番号0008695



「EcoVadis」は、独立評価機関のEcoVadis社が提供している企業のサステナビリティ評価システムです。「ISO26000」などの主要な基準に基づいており、「環境」「労働と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の観点から企業のCSR活動を評価します。「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」からなる4段階の認定レベルを設けており、日本サーファクタント工業は、2023年6月に「ブロンズ」認定を受けました。



品質マネジメント

国内外で事業を展開するうえで、品質マネジメントは企業が果たすべき責務といえます。ニッコールグループは、長い歴史に裏付けられた技術とノウハウを基盤に、高精度の品質管理システムを実現しています。ステークホルダーに向けて、安心・安全な製品・サービスを供給します。

RSPO認証

「RSPO」は、7つの団体が中心となり発足された国際的な非営利組織で、パーム油の持続的な産業化を目的としています。持続可能な供給体制の維持や生物多様性の保全を目指すニッコールグループでは「RSPOサプライチェーン認証」を取得。「RSPO」の正会員として加盟したグループ各社のうち、日本サーファクタント工業と日光ケミカルズ(シンガポール)がRSPOマスパランス(MB)製品の製造認証工場に認められました。さらに、2022年6月、グループの購入原料や製品のパーム誘導体について、MB認証品の割合97.76%を達成しました。



- 2017年～
RSPO正会員として加盟
- 日光ケミカルズ
 - 日本サーファクタント工業
 - 日光化学貿易(上海)
 - 日光ケミカルズ(シンガポール)

- 2018年
RSPO(MB)製品の製造認証工場としての認証取得
- 日本サーファクタント工業
 - 日光ケミカルズ(シンガポール)

- 2022年
RSPOマスパランス(MB)認証品の割合97.76%を達成



ISO 9001 (品質マネジメントシステム)

「ISO 9001」は、品質マネジメントシステムに関する国際規格です。最も普及しているマネジメントシステム規格であり、世界で170カ国以上、100万以上の組織が取得しています。取得企業である日本サーファクタント工業およびベルジュラックジャパンは、「ISO 9001」の定める品質方針に基づき、製品やサービスの継続的改善を進めています。



とちぎHACCP

「とちぎHACCP」(栃木県食品自主衛生管理認証制度)は、衛生管理の国際標準である「HACCP」を取り入れて、基本的な衛生管理を継続的に行える施設を認証する制度です。2020年8月に日本サーファクタント工業 宇都宮事業所は、「とちぎHACCP」を取得しました。これにより、原材料の受け入れから最終製品に至るまでの全工程で適切なマネジメントや対策を講ずることが可能となっています。



医薬品製造業許可

医薬品を製造するためには、医薬品製造業の許可が必要です。日本サーファクタント工業 宇都宮事業所では、高品質・安心・安全な医薬品を製造するために行政手続きに従い、医薬品製造業の許可を取得しております。

食品添加物製造業許可

食品添加物製造業許可は、食品添加物を製造するために必要な許可です。日本サーファクタント工業 宇都宮事業所では行政手続きに従い、食品添加物製造業の許可を取得しております。



EFFCI GMP認証

日本サーファクタント工業 宇都宮事業所は、2013年2月、日本で初めてヨーロッパの化粧品原料基準である「EFFCI GMP」を取得しました。これにより「ISO 9001」ではカバーしきれない衛生管理の項目が強化され、化粧品原料の製造に特化した品質管理が可能となっています。同年12月には「EFFCI GMP」と「ISO 9001:2008」の維持審査に適合しました。



人材・労務マネジメント

ニッコールグループでは、次世代を見据えた「組織風土」「企業文化」の醸成、新しい働き方の実現に取り組んでいます。ワークライフバランスの充実、リモートワーク環境の整備、男性従業員の育児休業推進、人材の多様化（多国籍人材）はもとより、「NIKKOL 25 for 2030」で標榜する「真のやりがい」を支援する取り組み、コンプライアンス強化などの浸透・定着に努めています。

エンゲージメント

ニッコールグループでは、2020年より、エンゲージメント向上活動に取り組んでいます。1年目は、上司と部下による1on1面談制度やエンゲージメントの測定・分析ツール「Wevox」を導入。2年目は、有志の部門を募ってワークショップを実施しました。3年目以降は、これまで積み重ねてきたノウハウやマインドをもとに、各部門が自発的により良い組織づくりを推進する、「主体的な企業文化」の醸成を目指しています。



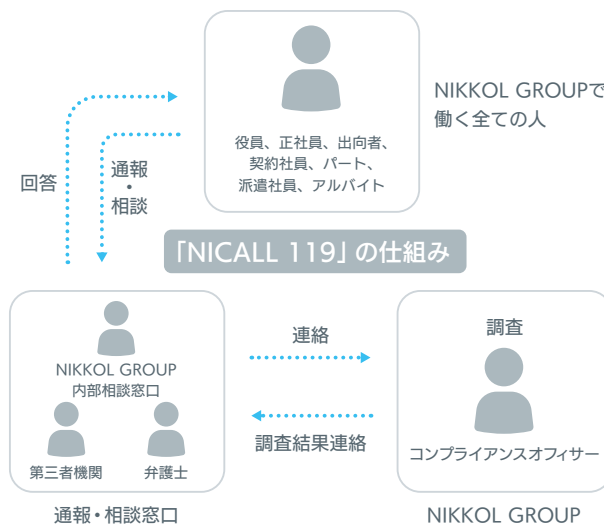
「Wevox」によるエンゲージメントスコアと分布・推移グラフ



エンゲージメント測定・分析ツール「Wevox」

内部通報制度 NICALL 119

企業が健全に成長するためには、社内でのコンプライアンス違反やその疑いのある事象などを通報・相談できる窓口が不可欠です。ニッコールグループでは内部通報制度「NICALL 119」を設け、その基盤を固めています。制度の対象は、役員、正社員、契約社員、パートタイム労働者など、グループで業務に従事する人材です。通報が事実と認められた場合、通報対象者は社規則に従って厳正な処分が下され、その結果は通報者にもフィードバックされます。



幅広い通報・相談に対応

「窓口は広く、敷居は低く」をモットーに通報・相談を受け付けています。法令違反、社内ルール違反などのホットラインだけでなく、悩み相談といったヘルプラインも重視しています。

3つの通報・相談窓口

社内の専門チームのほか、弁護士や第三者機関も相談に応じています。日・米・中の言語に対応しており、マルチリンガルなスタッフが通訳や三者間通話を担当します。

4つの通報・相談方法

第三者機関への通報・相談は4つの方法を用意しており、専用WEBフォーム、電話、電子メール、郵送に対応しています。通報・相談者の了承がない限り、氏名や所属は社内に報告されません。

働き方開発

ニッコールグループでは、従業員の自立・自律性を促し、創造性を発揮できるワークスタイル「働き方開発」を進めています。その一環として、日光ケミカルズでは、生産性向上を目的とするリモートワーク／在宅勤務の利用を推進しています。平常時でもリモートワーク率は30%で維持。新型コロナウイルスの感染拡大時（緊急事態宣言下）においては、70%を超えるリモートワーク率を実現しました。



女性活躍

日光ケミカルズでは、女性管理職が占める割合が全体の約22%となっています。ニコゲームリサーチは約33%、日光ケミカルズ（シンガポール）は約40%に達しています。そのほか、日本サーファクタント工業では、次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定。今後も、グループ全体で女性従業員が能力を発揮し、働きやすい環境を目指していきます。



男性育休推進



ニッコールグループでは、2021年から男性従業員の育児休業を推進するプロジェクトを進めています。啓もう活動やパンフレットなどの情報発信を通じて、育休を取得しやすい環境を整備。日光ケミカルズにおいては、2022年度に4名が育休を取得しました（前年度比3名増）。同年度、日本サーファクタント工業でも初の育休取得者が現われ、3名が制度を利用しています。

多国籍

ニッコールグループでは、外国籍社員の採用・受け入れ環境を整備するプロジェクトを展開中です。2023年1月時点で、日本、ブラジル、中国、アメリカ、ミャンマーなどの11国籍の社員が在籍しています。



社員の国籍
11国籍

離職率

1on1面談制度は、従業員から高い評価を得ており、利用者の約60%が「良い」「とても良い」と回答しています。離職の防止にも有効で、国内グループ4社における離職率は2019年から2021年にかけて5%前後で推移しています。



離職率
5.1%